



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (12月3日～8日)

1. トルコによるイラン産原油輸入量削減 (4日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

トルコのババジャン副首相は、米国から6カ月間の制裁適用除外を取得するため、トルコ国営石油会社がイラン産原油の輸入量をさらに20%減らす意向であることを明らかにした。その一方でトルコは、従来と同様にリビア産およびサウジアラビア産原油の輸入量を増加させる見込みである。

2. イラン国営石油会社による先物販売 (4日付テヘラン・タイムズ紙)

イラン国営石油会社 (NIOC, National Iranian Oil Company) は、12月22日～1月1日の間、先物販売を行うとイラン学生通信 (ISNA) が報じた。第一弾として、原油500万バレル以上を先物という形で、5億米ドルの価値で販売する。期間は3年で、期限後に現金等により買い戻しが行われる。この新しい手法で調達された資金は、油ガス田開発に投資される予定である。

3. 債権の購入額の増加 (8日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

イラン中央銀行のアボルハサニー (Abolhasani) 副総裁によると、本年 [ヒジュラ太陽暦 (イラン暦) 1391年 (2012年3月20日～2013年3月20日)] の第1四半期において、債権の発行額22兆5,700億リヤル (1米ドル=12,260リヤル計算で約18億米ドル) のうち、64%の16兆2,200億リヤルが市場で購入された。昨年 [ヒジュラ太陽暦 (イラン暦) 1390年 (2011年3月21日～2012年3月19日)] 同期では15兆6,000億リヤル分 (1米ドル=12,260リヤル計算で約13億米ドル) の債権が購入されており、本年に増加に至った主な要因は金利の上昇である。

4. 輸出入額の減少 (3日付ドンヤーイエ・エグテサード紙)

イラン税関発表の統計によると、本年 [ヒジュラ太陽暦 (イラン暦) 1391年 (2012年3月20日～2013年3月20日)] の8カ月 (2012年3月20日～11月20日) の輸出額は、前年 [ヒジュラ太陽暦 (イラン暦) 1390年 (2011年3月21日～2012年3月19日)] 同期比1.92%減の280億米ドルで、輸入額は5.84%減の370億米ドルであった。

## 5. 外国車輸入停止に関する国会経済委員会副委員長の発言（6日付ジヨムフリーイエ・エスラーミー紙）

イラン国会の経済委員会副委員長は、「外国車の輸入停止および制限は、経済や社会に影響を及ぼす。国内の自動車生産者にとっても（競合相手が無くなることで）品質向上に努める士気を失う。そして、最も被害を受けるのは購買者である」と述べた。

## 6. インフラ省設立案の提出（3日付ハムシャフリー紙）

過去に国会で否決されたインフラ省（Ministry of Infrastructural Affairs）設立案が、再度、政府から国会に提出された。タギープール通信情報技術大臣が辞任した後、現在、同大臣を兼務しているニークザード運輸・都市開発大臣は、3つの省庁（通信情報技術省、運輸・都市開発省。もう一つの省については言及せず）の合併の必要性を強調した。国会建設委員会および国会予算計画委員会は、同案に反対している。